

認知症に関する意識・意向調査

調査ご協力のお願い

この調査は、住民基本台帳から無作為に抽出した満18歳以上の2,900人の方に
お送りし、認知症の方やそのご家族100人の方には個別にお願いしています。

調査結果は統計的処理をしますので、個人が特定されることはありません。また、調査
目的以外に使うことはありません。

回答に必要な時間は〇〇分程度です。よろしくお願いたします。

ご回答にあたって

1. ご回答は、宛名のご本人がご記入ください。ご本人による記入が難しい場合は、ご本人の
考えを確認し、ご家族などが代わりにご記入ください。

2. 郵送で回答される場合

この調査票にご回答の上、お名前や住所は書かずに、〇〇月〇〇日(〇)まで
に同封の封筒(切手不要)に入れて、ポストに投函してください。

3. インターネットで回答される場合

パソコン、タブレット、スマートフォンからでも回答できます。下記専用サイトの画面の指
示に従って、〇〇月〇〇日(〇)までに送信してください。

調査専用サイト URL :

調査 ID
パスワード

調査の最初のページにおいて、
左記の調査ID・パスワードを
入力してください。

二次元コード

【お問い合わせ先】 葛飾区 高齢者支援課

電話 : 03-xxxx-xxxx Email: xxx@xxx.xxx.lg.jp

【問8から問13は、問7で「1. うけている」を選択した方のみ】

※ご本人による記入が難しい場合は、ご本人の考えを確認し、ご家族などが代わりにご記入ください。

問8 現在、あなたが楽しみにしている（続けている）ことを教えてください。
（〇はいくつでも）

1. ラジオ体操やグランドゴルフ、ウォーキングなどで体を動かす
2. いろいろな場所に出かけたり、旅行に行く
3. カラオケで歌ったり、料理を作るなど好きなことをする
4. 自分のお気に入りの場所でゆったりと過ごす
5. 家族、友人や仲間とおしゃべりする
6. 仕事やボランティア活動に行く
7. その他（ ）

問9 今後、あなたがやってみたいと思うことを教えてください。（〇はいくつでも）

1. 絵や手芸、音楽など新たな趣味を持ちたい
2. 自分の体験や希望、今後のことなど認知症について話し合える活動に参加したい
3. 地域のお祭りや町内会の活動に参加したい
4. ボランティア活動に参加したい
5. できる範囲で働きたい
6. その他（ ）

問10 あなたの今後の生活についてお考えに近いものをお選びください。（〇は1つだけ）

1. 家族の支援や介護サービスを利用して自宅で生活したい
2. 食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら介護施設に入所したい
3. その他（ ）
4. わからない

問11 介護サービスの利用について、あなたのお考えに近いものはどちらですか。
（〇は1つだけ）

1. 介護サービスはできるだけ利用したい
2. 人の世話になるのが嫌なので介護サービスは利用したくない
3. 自分のことは自分でできるので介護サービスは必要ない
4. その他（ ）

アンケートにご協きょうりょく力いただきまして、ありがとうございました。

郵送で回答される場合は、ご記入いただきました調査票を、同封の返信用封筒
(切手不要)に入れて、〇月〇日(〇)までに投函してください。

2. 認知症に関する知識と認識についておたずねします

問14 あなたの認知症に対するイメージは、次のうちどれですか。(〇はそれぞれ1つだけ)

	そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
回答例 ⇒	1	②	3	4
1. 難しいことでも工夫していきいきと生活することができる	1	2	3	4
2. 家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる	1	2	3	4
3. 身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる	1	2	3	4
4. 周りの人に迷惑をかけてしまうことがあるので、地域で生活することが難しい	1	2	3	4
5. 症状が進行すると何もできなくなってしま	1	2	3	4

問15 認知症について、あなたが知っていることを選んでください。(〇はいくつでも)

1. 認知症は誰にでも発症する可能性がある
2. 認知症の原因となる病気は、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症などがある
3. 認知症は治療で症状が改善する場合がある
4. 早期の治療で認知症の進行を遅らせることができる場合がある
5. 認知症は、不安、うつ状態、幻覚・妄想などを伴うことがある
6. 記憶力の低下などはあるが、認知症ではない状態を軽度認知障害(MCI)といい、認知症の前段階としてとらえられている
7. その他 ()
8. 該当なし

問16 認知症に関する相談窓口について、知っているものをご回答ください。
(〇はそれぞれ1つだけ)

1. 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）

住み慣れた地域で安心して暮らすため、区内14か所に設置された身近な相談窓口です。介護のことや認知症の方の権利擁護などの相談を受けています。このことについてあなたは知っていますか。

1. 知っている

2. 知らない

2. 高齢者見守り相談窓口

区役所の高齢者支援課では、地域で見守りを必要とするひとり暮らしや認知症の方などを対象に、区職員等が自宅を訪問し、日常生活の支援につなげる高齢者見守り相談窓口を設置しています。このことについてあなたは知っていますか。

1. 知っている

2. 知らない

3. 認知症サポート医・認知症連携医

区内の医療機関には、認知症について高い専門性を持つ医師がいて、認知症の診断や治療に関する相談を受けています。このことについてあなたは知っていますか。

1. 知っている

2. 知らない

4. もの忘れ外来

もの忘れの自覚がある方に対して、検査を行い、治療につなげるもの忘れ外来が設けられています。このことについてあなたは知っていますか。

1. 知っている

2. 知らない

問17 あなたは、認知症を予防するために、効果があると思うものは何ですか。
(〇はいくつでも)

1. 規則正しい生活習慣（バランスの良い食事、適度な運動）を送る

2. タバコを吸わない

3. 趣味を持つ

4. 仕事やボランティア活動をする

5. 友人や仲間をつくる

6. 閉じこもらずに外出する

7. 定期的に健康診査を受ける（もの忘れ予防健診を受ける）

8. その他（

）

9. 該当なし

問18 あなたは、認知症を予防するために、取り組んでいるものは何ですか。
(〇はいくつでも)

1. 規則正しい生活習慣(バランスの良い食事、適度な運動)を送る
2. タバコを吸わない
3. 趣味を持つ
4. 仕事やボランティア活動をする
5. 友人や仲間をつくる
6. 閉じこもらずに外出する
7. 定期的に健康診査を受ける(もの忘れ予防健診を受ける)
8. その他()
9. 該当なし

問19 若年性認知症とは65歳未満で認知症状が発症するものです。発症する年齢が平均54.4歳と若いことから、高齢期の認知症との違いを知ることが大切とされています。

1. 若年性認知症のことについてあなたは知っていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

2. 若年性認知症の世代では夫婦間の問題、子どもの養育や教育など、家庭内に大きな問題を引き起こすことがあるといわれています。このことについてあなたは知っていますか。
(〇は1つだけ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

3. 若年性認知症総合支援センター

専任の若年性認知症支援コーディネーターが、電話・面談・訪問を行いながら、ご本人のニーズや状態に応じて、ワンストップ支援により、就労継続、介護などの多岐に渡る情報を提供しています。このことについてあなたは知っていますか。

(〇は1つだけ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問24 あなたは、^{にんちしょう}認知症^{ばあい}になった場合、^{せいかつ}どこで生活したいですか。(○は1つだけ)

1. ^{かぞく しえん かいご}家族の支援や介護サービスを利用して^{りよう じたく せいかつ}自宅で生活したい
2. ^{しょくじ}食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら^{かいご しせつ にゅうしょ}介護施設に入所したい
3. ^{かいご しせつ にゅうしょ}介護施設に入所したい
4. その他 ()
5. わからない

5. ^{にんちしょう しょうじょう}認知症の症状がある方の^{かた しえん}支援についておたずねします

問25 あなたの^{かぞく にんちしょう しょうじょう}家族に認知症の症状がある方はいますか。(○は1つだけ)

1. いる 2. いない →問34へ 3. わからない →問34へ

【問26 から問28 は、問25 で「1. いる」を選択した方のみ】

問26 ^{にんちしょう しょうじょう}認知症の症状がある方の^{かた ようかいごと}要介護度は、^{つき}次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1. ^{ようしえん} 要支援1 | 4. ^{ようかいごと} 要介護2 | 7. ^{ようかいごと} 要介護5 |
| 2. ^{ようしえん} 要支援2 | 5. ^{ようかいごと} 要介護3 | 8. わからない |
| 3. ^{ようかいごと} 要介護1 | 6. ^{ようかいごと} 要介護4 | 9. ^{にんてい} 認定なし |

問27 ^{にんちしょう しょうじょう}認知症の症状がある方の^{かた く}暮らしの^{じょうきょう}状況は、^{つき}次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- | | |
|--|-----------------------------------|
| 1. ^{かいご} 介護している ^{かぞく どうきょ} 家族と同居している | 3. ^{しせつ にゅうしょ} 施設に入所している |
| 2. ^{かいご} 介護している ^{かぞく べっきょ} 家族と別居している | 4. その他 () |

問28 ^{おも}主にどなたが^{にんちしょう しょうじょう}認知症の症状がある方の^{かた かいご おこな}介護を行っていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---|----------------------------------|---------------------|
| 1. <u>^{じぶん かいどうしゃ}自分 (回答者)</u> | 3. ^こ 子ども | 5. ^た その他 |
| 2. ^{はいぐうしゃ} 配偶者 | 4. ^{せんもん かいご} 専門の介護スタッフ | () |

【問29 から問33 は、問28 で「1. ^{じぶん かいどうしゃ}自分 (回答者)」を選択した方のみ、それ以外の方は

問34へ】

問29 認知症の症状がある方の介護で、困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 一人で出歩くなど、目が行き届かない | 5. 家族の理解・協力が得られない |
| 2. 本人が病院の診察を受けたがらない | 6. 介護で疲れてしまう |
| 3. 本人が介護サービスを受けたがらない | 7. その他 () |
| 4. 介護の方法がわからない | 8. 特にない |

問30 認知症の症状がある方の介護について、あなたが感じる負担は、次のうちどれですか。(〇はそれぞれ1つだけ)

負担感	非常に 大きい	やや大きい	あまりない	ない
回答例 ⇒	1	2	3	4
1. 食事の介助	1	2	3	4
2. 移動の介助	1	2	3	4
3. トイレの介助	1	2	3	4
4. 入浴の介助	1	2	3	4
5. 不安やうつ症状への対応	1	2	3	4
6. 幻覚や妄想への対応	1	2	3	4
7. 歩き回る、道に迷う	1	2	3	4

問31 今まで介護保険サービスを利用したことがありますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|---------|----------------------|------------------|
| 1. 利用した | 2. 利用したことがない → 問33 へ | 3. わからない → 問34 へ |
|---------|----------------------|------------------|

【問32は、問31で「1. 利用した」を選択した方のみ】

問32 以下の介護保険サービスについて、利用状況を回答ください。
 (〇はそれぞれ1つだけ)

介護保険サービス名/利用状況	利用したことがある	利用したことがない	わからない
回答例 ⇒	①	2	3
1. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	1	2	3
2. 訪問入浴介護	1	2	3
3. 訪問看護	1	2	3
4. 訪問リハビリテーション	1	2	3
5. 通所介護 (デイサービス)	1	2	3
6. 通所リハビリテーション (デイケア)	1	2	3
7. 夜間対応型訪問介護	1	2	3
8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3
9. 小規模多機能型居宅介護	1	2	3
10. 看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3
11. 短期入所 (ショートステイ)	1	2	3

【問33は、問31で「2. 利用したことがない」を選択した方のみ

問33 介護保険サービスを利用していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 現状ではサービスを利用するほどではない 2. 本人にサービス利用の希望がない 3. 家族が介護をするため必要ない 4. 以前、利用していたサービスに不満があった 5. その他 ()
--

6. 地域や周囲の理解についておたずねします

問34 あなたや家族、身近な人が認知症になった場合、そのことを近所の人^{きんじよ}に知^しってもら^らいたいと思^{おも}いますか。(〇は1つだけ)

1. 知^してもら^らい、見^み守^{まも}りや声^{こゑ}かけなど協^{きょうりょく}力^{りき}をお願^{ねが}いしたい
2. 隠^{かく}す必要^{ひつよう}もないが、あて^あて知^してもら^らいたいと思^{おも}わない
3. 知^しられ^られ^れたく^くない
4. その他^た ()
5. わか^わら^らない

問35 あなたは、認知症^{にんちしやう}の方^{かた}が地^ち域^{いき}社^{しゃ}会^{かい}のな^{なか}で、人^{じん}格^{かく}を持^もった一^{ひと}人^{にんげん}の人間^{じんげん}として尊^{そん}重^{ちやう}さ^されて^れいると思^{おも}いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. そう思 ^{おも} う | 3. あまりそう思 ^{おも} わ ^わ ない |
| 2. ややそう思 ^{おも} う | 4. そう思 ^{おも} わ ^わ ない |

問36 その理^り由^{ゆう}をお書^かき^{くだ}さい。(自由^{じゆう}回^{かい}答^{とう})

問37 認知症^{にんちしやう}の方^{かた}の意^い思^しの尊^{そん}重^{ちやう}さ^さについてあなた^{あなた}の考^{かん}え^が方^{かた}にも^もつ^つも^も近^{ちか}い^いもの^{もの}をお答^{こた}え^えく^くだ^ださい。(〇はそれ^{それ}ぞ^ぞれ^れ1¹つ^つだ^だけ)

	ほんにん いし 本人 ^{ほん} の意 ^い 思 ^し を 尊 ^{そん} 重 ^{ちやう} する	ほんにん いし そんちやう 本人 ^{ほん} の意 ^い 思 ^し を尊 ^{そん} 重 ^{ちやう} し ^し な ^な が ^が ら、家 ^か 族 ^{ぞく} や 専 ^{せん} 門 ^{もん} 家 ^か が判 ^{はん} 断 ^{だん} する	かぞく せんもんか 家 ^か 族 ^{ぞく} や専 ^{せん} 門 ^{もん} 家 ^か が 代 ^か わ ^わ つ ^つ て 判 ^{はん} 断 ^{だん} する
かいとうれい 回 ^{かい} 答 ^{とう} 例 ^{れい} ⇒	①	2	3
1. かいご 介 ^{かい} 護 ^ご サ ^さ ー ^さ ビ ^び スに ^に 関 ^{かん} する ^{こと}	1	2	3
2. いりやう 医 ^い 療 ^{りやう} に ^に 関 ^{かん} する ^{こと}	1	2	3
3. さいさん 財 ^{さい} 産 ^{さん} に ^に 関 ^{かん} する ^{こと}	1	2	3
4. せいかつ 生 ^{せい} 活 ^{かつ} に ^に 関 ^{かん} する ^{こと}	1	2	3

7. 区^くの取組^{とりぐみ}についておたずねします

問38 葛飾区^{かつしかく}が取組^{とりぐ}む以下の認知症^{いにちしやうしやく}施策^{かんれん}（関連^{ふく}するものを含む）について、ご回答^{かいとう}ください。（○はそれぞれ1つだけ）

1. オレンジカフェ

認知症^{いにちしやう}の方^{かた}やその家族^{かぞく}、地域^{ちいき}の方^{かた}、専門^{せんもん}スタッフなどが集い^{つど}、会話^{かいわ}を楽しむ場所^{ばしょ}です。もの忘れ^{わす}や認知症^{いにちしやう}に関する相談^{そうだん}ができます。

1. 利用^{りよう}したことがある 2. 知っているが、利用^{りよう}していない 3. 知らない

2. 家族会^{かぞくかい}

認知症^{いにちしやう}の方^{かた}を介護^{かいご}する家族^{かぞく}やすでに介護^{かいご}を終えた方々^おが集まり^{かたがた}、悩み^{あつ}や情報^{なや}を共有^{じやうほう}し、支え合う場^{きやうゆう}です。

1. 利用^{りよう}したことがある 2. 知っているが、利用^{りよう}していない 3. 知らない

3. もの忘れ^{わす}予防^よ健診^{けんしん}

区内^くの医療^{いりやう}機関^{きかん}において、医師^{いし}による問診^{もんしん}と簡単^{かんたん}な検査^{けんさ}を行い、認知症^{いにちしやう}の疑い^{うたが}を早期^{そうき}に発見^{はっけん}し、医療^{いりやう}機関^{きかん}の診断^{しんだん}につなげます。

1. 利用^{りよう}したことがある 2. 知っているが、利用^{りよう}していない 3. 知らない

4. もの忘れ^{わす}訪問^{ほうもん}サポート

認知症^{いにちしやう}は早期^{そうきはっけん}発見^{そうきしえん}・早期^{だいせつ}支援^{たいせつ}が大切です。看護^{かんご}師^しなどの専門^{せんもん}職^{しやく}が、認知症^{いにちしやう}が疑い^{うたが}られる方^{かた}等^{とう}のご家庭^{かてい}を訪問^{ほうもん}して病院^{びやういん}受診^{じゆしん}や介護^{かいご}サービス利用^{りよう}、家族^{かぞく}支援^{しえん}などの初期^{しよき}支援^{しえん}を行います。

1. 利用^{りよう}したことがある 2. 知っているが、利用^{りよう}していない 3. 知らない

5. 家族^{かぞく}介護^{かいご}者^{しや}ほっとあんしんダイヤル

「介護^{かいご}保険^{ほけん}ってなに?」「どこに相談^{そうだん}すればいいの?」「家族^{かぞく}の介護^{かいご}に疲れ^{つか}た」など、介護^{かいご}に関する悩み^{かん}や困り事^{なや}など、家族^{かぞく}を介護^{かいご}している方^{かた}からの相談^{そうだん}に、福祉^{ふくし}や医療^{いりやう}などの資格^{しかく}を有^{ゆう}する職員^{しよくいん}が電話^{でんわ}で応^{おう}じます。

1. 利用^{りよう}したことがある 2. 知っているが、利用^{りよう}していない 3. 知らない

6. おうちで学ぶ快適介護

在宅で介護しているご家族が、日頃困難に感じている介護方法について、ホームヘルパー等
 がご自宅を訪問して、実演を交えながら介護のコツをわかりやすく指導し、介護に関する知識
 や技術のアドバイスをします。

1. 利用したことがある 2. 知っているが、利用していない 3. 知らない

7. 家族等介護支援事業

ご家族が休息できるよう、介護施設で、「通い」または「泊り」にて一時的にお世話します。

1. 利用したことがある 2. 知っているが、利用していない 3. 知らない

問39 葛飾区の取組について、あなたが知っているものはありますか。
 (〇はそれぞれ1つだけ)

知っている／利用しているもの	利用したことがある	知っているが、利用していない	知らない
回答例 ⇒	1	②	3
1. 認知症サポーター養成講座	1	2	3
2. 認知症サポータースキルアップ講座	1	2	3
3. もの忘れ相談会	1	2	3
4. おでかけあんしんシール	1	2	3
5. おでかけあんしん保険 (損害賠償責任保険)	1	2	3
6. 位置探索サービス助成事業	1	2	3
7. 介護予防(認知症予防)教室 脳カトレーニング	1	2	3
8. 介護予防(認知症予防)教室 回想法	1	2	3
9. 介護予防(認知症予防)教室 ふれあい銭湯	1	2	3
10. その他()	1	2	

問40 あなたは、認知症の方やご家族への支援で今後充実していかねばならないものは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1. 認知症の方を介護している人のための介護教室
2. 認知症に関する正しい知識を持った支援者の養成
3. 認知症に関する正しい知識を普及するための啓発活動
4. 若年性認知症の方への相談支援
5. 近隣住民などによる見守り
6. 行方不明の認知症の方を早期発見するための取組
7. 判断能力が不十分な方を法的に保護する成年後見制度の利用
8. 認知症に関する相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み(例：介護相談)
9. 認知症の方を介護する家族の交流などができる場(例：家族会)
10. 電球交換や草むしりなど、簡単な家事を支えるサービス
11. 認知症の方が社会参加できる場(例：サロン・カフェ、ボランティア活動など)
12. 地域からの孤立防止や安否確認のための定期的な訪問
13. 認知症専門医の紹介
14. 認知症グループホームなどの施設整備
15. その他()
16. 特にない
17. わからない

問41 認知症についてのご意見・ご要望を自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

郵送で回答される場合は、ご記入いただきました調査票を、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、〇月〇日(〇)までに投函してください。